

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 運動&学習療育あなたが宝モノ泉佐野教室



事業所による自己評価の令和3年度の結果を公表します。
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めていきます。
これからも 運動&学習療育 あなたが宝モノ をどうぞよろしく願っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	法令遵守に努めています。日々、利用人数・療育内容やプログラムごとにパーテーションで区切るなど、スペースの確保を工夫しております。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	法令を遵守しています。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	療育室内はバリアフリー化に配慮しております。	教室の立地が3階になります。現状では、エレベーターの設置は難しいため、補助が必要な場合は、スタッフが対応いたします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	主に、個別支援計画の作成に当たり、PDCAサイクルにのっとり職員が参画しております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		今後も、定期的にアンケート調査を実施し、より良い評価をいただけるよう、業務改善につなげていくよう努めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPで公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%		第三者評価は実施していませんが、コンサルティング会社と提携し、ご利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え、業務内容の評価と改善策の提案を受けています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	毎月、職員の療育への意思向上・一貫性のある療育提供に向け、日課プログラム・運動プログラム・運動プログラムの研修、模擬授業を行っております。	

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	日々、聞き取りや情報共有、定期的なアセスメントに基づいて、ニーズや困り感を客観的に分析して、放課後等デイサービス計画を散る暗視、療育に繋げています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	事業所でのルールやシステム化されたプログラムの中で、現状把握に努めています。	アセスメントツールについては、作成に向けて取り組んでいるところです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	ご利用者様の支援計画に基づき、ゼンスタッフで現状を共有したうえで、日々の活動プログラムを立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	月ごとのテーマを設定した年間スケジュールに沿って、プログラムを実施しています。また、スタッフ間での情報共有をしながら、療育内容に顔真やかな変化を加えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日と土曜日では、コース設定が異なるため、それぞれのコースに合わせて時間割・課題を設定しています。長期休暇期間は、それぞれのコースに合わせて、時間割を設定しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個々の状況・課題に合わせて、コースを検討し、個別と集団での活動を組み合わせ、適切な療育が行えるよう放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	日々の活動プログラム・内容に応じて担当を配置し、支援・療育内容を確認し合います。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	日々、ご利用者様の様子や状況、療育の振り返りや気付きを共有し、次回へ引き継がれる療育内容を認識し合っています。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	その日の担当者、療育内容や気付き、次回への引継ぎなどを日報に記録することを徹底し、より良い療育の提供に繋がっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	個別支援計画に基づき、定期的にモニタリングを実施し、ニーズ・課題の見直しの必要性を日比野日報を通して判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、柔軟に組み合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの総則の基本活動を複数、柔軟に組み合わせた支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者もしくは療育を主に担当する者が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	主には、保護者様を通じての連絡調整となりますが、学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)をご協力いただき、適切に行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療的ケアが必要なお子様の情報・対応を共有していただき、周知し、連絡体制を整えています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%		担当者会議で機会を得られていましたが、今後はできる限り、こちらからも就学前に利用されていた施設へ情報共有・相互理解できるよう働きかけていきます。今後さらに支援内容や子どもの様子・療育の成果をお伝えするよういたします。

関係機関や保護者との連携

24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%		まだ事例はありませんが、今後移行される場合、継続した支援ができるよう、それまでの支援内容や子どもの様子、療育の成果の情報を提供する等の連携を取ります。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	児童発達支援センターや発達障害者支援センター棟の専門機関と連携し、療育の共有や助言をいただいています。	積極的に研修などに参加させていただき、連携していきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%	80%		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を設けてまいります。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	80%	20%		(地域自立支援)協議会等の会議やイベントに参加できる機会がありましたら、積極的に参加します。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎の際や、日々の連絡帳でのやり取り、電話・LINEなど、日ごろから個々の状況・状態を共有し合い、お子様の発達や課題について、共通理解を持つようにしております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	相談希望の保護者様には積極的に支援をしております。オンラインでの講演会なども実施し、ペアレント・トレーニングにつなげていきます。	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	ご契約前の療育説明会では、支援内容のご説明と日々のお子様の様子をヒアリングさせていただき、ご納得いただいた上、体験に進んでいただいております。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様から相談があった際には、随時、対応させていただいております。	より相談しやすい環境づくりに努めてまいります。

保護者への説明責任等

32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	20%		新型コロナウイルスの流行もあり、実施が難しい状況でしたが、今後は状況に合わせて、積極的に開催してまいります。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談苦情窓口を設け、周知しております。相談や申し入れがありましたら、迅速かつ適切に対応しております。	
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、教室からの通信を発行しております。合わせて、LINE・HP・ブログ・Facebook・Instagram等、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対して発信しております。	
35	個人情報に十分注意している	100%	0%	法令を遵守しております。個人情報はカギ付き書庫に保管し、資料・書面はシュレッダーにて破棄しております。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	お子様には、障害特性を加味し、意思の疎通に配慮をしております。保護者様に対しても、電話・LINEや連絡帳など、複数の方法で対応できるよう、配慮をさせていただいております。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	教育委員会の講演をいただき、講演会を開催させていただきました。新型コロナウイルスの流行に伴い、オンラインでの開催となりましたが、地域の方々にもご参加いただきました。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員、保護者様に周知しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他の必要な訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待を防止するため、研修に参加したり、研修での学びを共有し、適切な対応をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	現状、該当するお子様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様・保護者様に事前に十分に説明し、了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載する仕組みは構築しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	ご契約時に記入いただいている事前調査票と面談をもとに、食物アレルギーの有無を把握し、食物アレルギーのあるお子様については、家庭や意思と連携して対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努め、学びとしております。